

講演会開催報告

桜区防災研修会

2026 年 8 月 25 日(火) 14:00-16:00 プラザウエスト 2 階 多目的ルーム

8 月 25 日にプラザウエスト多目的ルームで実施された桜区防災研修会の際に、さいたま市桜区からの依頼を受けて参加者に向けた講演会を行いました。

本研修会は、さいたま市桜区のすべての自治会長を主な対象として、桜区の水害リスクや地形・地質と水害・地震災害との関係について、地域の方と情報共有し、地域防災の向上に貢献することを目指して行われています。自治会長、防災アドバイザー、地元選出の議員の方々など 48 名の方に参加いただきました。

国土交通省荒川調節池工事事務所の手島健行副所長による荒川調節池工事の進捗状況に関する説明に引き続いて、水害リスクと防災：荒川の低頻度外水氾濫と支川・水路の高頻度内水氾濫についてレジリエント社会研究部門の田中規夫教授が、地形・地質から地域の防災を考えるというタイトルで同研究部門の長田昌彦教授が、講演しました。

アンケートを通して、参加者全員から「参考になった」という評価を、またほぼ全員から「学んだことをいかしていきたい」という評価をいただきました。桜区の地形・地質や地形と災害の関係を理解できたというコメントが多くあった一方で、身近に感じにくいというコメントもありました。

